



2017~2018

沼田ロータリークラブ会報

ロータリー：変化をもたらす
MAKING A DIFFERENCE

2017~2018年度 国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 宮内明彦 幹事 桑原敏彦 会報編集 綿貫利彦
例会場 ディラン 事務所 沼田市西倉内町669-1 沼田商工会議所3階 TEL 0278-24-1177

第2965回 例会報告

2018年2月16日

記録 木下康彦

例会予告

2/27	私とロータリー 浦和RC直前会長 武田雅史先生
3/6	吉祥寺 村上俊英 副住職

<http://www.rid2840.jp/numata/>

2018年2月27日発行 No.28

クラブ研修

奉仕の理想を実践しよう

— 日本のロータリー100周年に向けて —

RI研修リーダー

第2840地区パストガバナー 本田博己先生



■卓話者紹介 桑原 滋君

先生は、96年前橋RC入会、10-11年クラブ会長、13-14年ガバナーを努められ、地区役員等多くの役職をされていますが、RI地区研修委員として、世界協議会で1月にガバナーノミニに教授されてきました。

お仕事は、群馬ヤクルトの代表取締役会長をされています。

本日は、奉仕の理想を実践しよう。日本のロータリー100周年に向けてと題してお話いただきます。

■卓話

サンディエゴの国際協議会から2週間前の雪の日に帰ってきて、その疲れや雪かきで体調を崩してしまいました。沼田の皆さんには地区等でお世話になりありがとうございます。

我々は奉仕の理想とっていましたが、今は奉仕の理念ということになってきました。

本日の話は、生方年度で保坂さんにセミナーを頼まれたときの内容です。

福沢諭吉の明治維新前後を比較した言葉。あたかも一身にして二生を経るが如く、一人にして両身があるが如しとあり、7年前の東日本大震災で価値観や人生観が大きく変化しました。多くの方が支援活動に協力し、ロータリーもいろいろな方法で参加協力いたしました。これはロータリーの奉仕の理念で、行動の支えとなったもので、相互扶助による復興支援活動でした。これに奉仕の理念の原型と可能性がみられたと思います。

昨年1月の友に編集部から依頼された「職業奉仕はロータリーの根幹」という文章を書きました。これには、日本の職業奉仕論とRIの職業奉仕論は違っているという内容です。

職業奉仕という言葉を使わずに奉仕の理想で議論を深めていく。否定するのではなく、職業奉仕ではなく奉仕の理念と置き換えるほうがわかりやすくなると思います。

五大奉仕部門は定義がなく、クラブ定款に定めているだけで、各クラブの枠の中にあります。職業奉仕は特に具体的なものがなく、1987年から提唱された職業奉仕に関する声明に各自の職業を通じてクラブが模範となる事例を示すことのできるプロジェクトを実践することとある。2016年規定審議会で改正し、自己の職業上の手腕を社会ニーズに役立てるためのクラブプロジェクトに応えることと定義しました。

職業奉仕月間では、この理念と実施する月間として、地区行事でボランティアの表彰や親睦活動への参加推進、プロジェクトの実施や未充填職業の会員増強を行うよう強調している。職業研修チーム、VTTも職業奉仕の事例としている。

日本とRIの違いは解釈の違いではなく、日本の論点は、職業奉仕は金看板で、本業を立派にすることで、報酬を得るサービスであり、シェルトンのモットーが根幹であるというが、これらは思い込みにすぎないということです。

職業奉仕は、職業倫理論であり、昔も今も倫理や高潔性を大事にして、奉仕の理念を根幹に他人のことを思いやり、他人の助けとなることである。これが奉仕の理念の根幹です。

四大奉仕部門を1928年ミネアポリス大会で国際奉仕を入れて定義し、クラブ管理運営の枠組としました。その中で職業奉仕の理念では、「超我の奉仕」や「最も良く奉仕する者、最も多く報われる」がモットーとして大きく言われ、他人への思いやりやマタイの福音書にもある、人にしてもらいたいと思うことは何でもあなたがしなさいということを示しています。職業奉仕と社会奉仕を一体化して捉えるべきだと思います。

決議23-24（1923年）も一体化していて、一つの人生哲学で、利己的な欲求と他人のためという感情の間に存在する矛盾を和らげようとするものと捉えている。現代ロータリーにおけるサービスの意味は、人々の助けとなること、社会の役に立つこと、世のため人のために尽くすことと思う。ロータリーが実践してきた究極のサービスの形です。

これが奉仕の理念で、これを広め価値を高めて行く。理想のロータリアンは、個人生活、職業生活、社会生活等人生の全ての面で奉仕の理念の研鑽と実践を行う人であると思います。

奉仕の理念の原点は相互扶助であり、ポールハリスも言っています。相互扶助の精神はサービスの概念を加えて奉仕の理念となり、ロータリーの一貫した思想となっています。

日本のロータリーも100年を迎えようとしていて、次の100年に向かうためのビジョンを策定するために委員会を設置しました。現状を確認し課題を出して、英知を集めて各ク

ラブが元気になっていただきたい。日本と世界とギャップを感じるがあります。日本が世界のリーダーとして、ネットワークの中心となり、21世紀に理念と活動の両面で協調すべきだと思います。そうでないと日本は孤立化してしまい、どこに行ってしまうでしょう。世界との意識の差を知っておく必要があると思います。

田中作次元RI会長は、ロータリーの魅力について「奉仕とは人のために役立つこと」「ロータリーでは人を幸せにするために奉仕する喜びを味わうことができる」「人のために役立つことが自分の喜びとを感じるのがロータリーの魅力だ」と述べています。ロータリアンであることは、一つの生き方を選択したことで、奉仕の理念は自分の生活の中に実現すべきものです。

「未来は予測するものではない。自らが創るものだ」です。社会の中で自分を活かしながら未来に向かって社会を良い方向に導いていくよう、ロータリアンとして進めて下さい。

例 会 報 告

■司 会 宮田徳彦SAA出席委員

■ソング 奉仕の理想 田辺祐己君

■来賓及び来訪ロータリアン

第2840地区パストガバナー 本田博己君

会長の時間 宮内明彦会長

本田パストガバナーにはお忙しき中、当クラブ研修の講師として来ていただきありがとうございます。松野研修委員長はじめ委員会の皆様、設営ありがとうございます。

ロータリー記念文庫に本田先生の著書がありますので、ぜひ皆様もお読みいただきたいと思います。

委員会報告

◎ニコニコ委員会 吉野 登委員長

・宮内明彦君 お忙しき中当クラブ研修講師に本田先生を迎えでき。

・ニコニコ週間 本田博己RI研修リーダーを講師にお迎えして。

宮田徳彦君 佐藤 勉君 西田俊太郎君

今井幸吉君 吉野 登君 桑原伸一郎君

桑原 滋君 松野正一君 水石清治君

保坂充勇君 桑原敏彦君 戸部聖之君

櫛淵光彦君 阿形登氏君 天野純一君

持谷明宏君 小菅茂雄君